



# 2021年度 センシング工学第11回

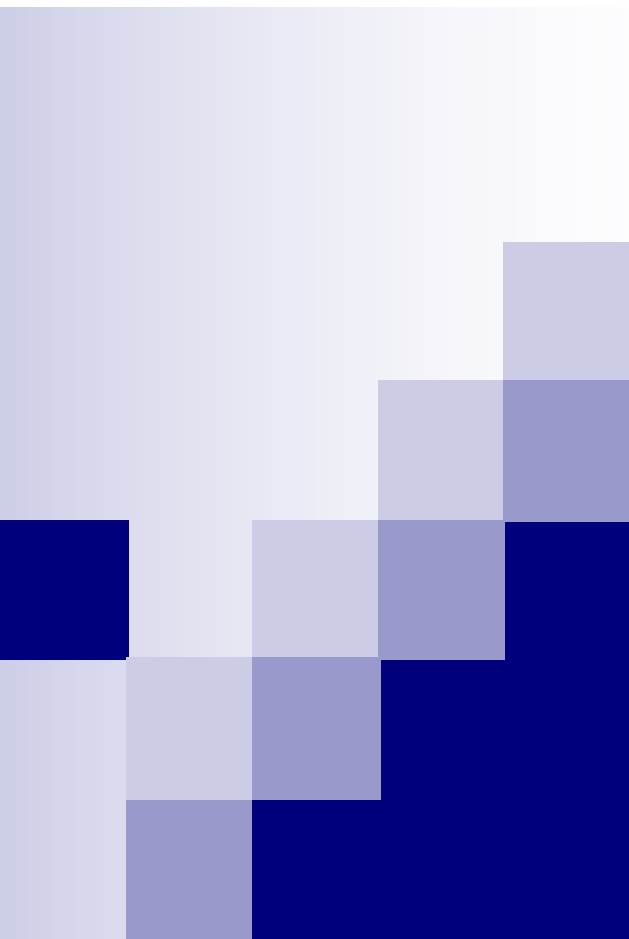


# 最小二乗法(4)その1 ~演習と解説~



# 演習・解説は2問

- 1問約10分で解答してもらう
- 演習なので、教科書・レジュメの参照可。
- できるだけ一人でやる(自分の理解度のチェック)
- その後10分で解答と解説を行う
- 小テストの代わりに演習問題2の解答を提出
- 中間・期末試験の問題に即した出題



# 最小二乗法(4)その2 ~計算機での取り扱い~

# 問題2

- 最小二乗法による直線当てはめ.....の前に。

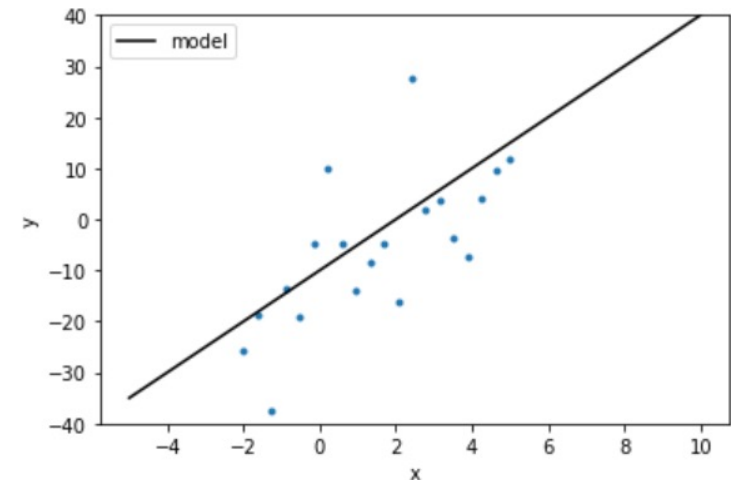
Python/numpy/matplotlibによる  
データ処理と可視化について演習  
します。

Google Colaboratoryにアクセス。

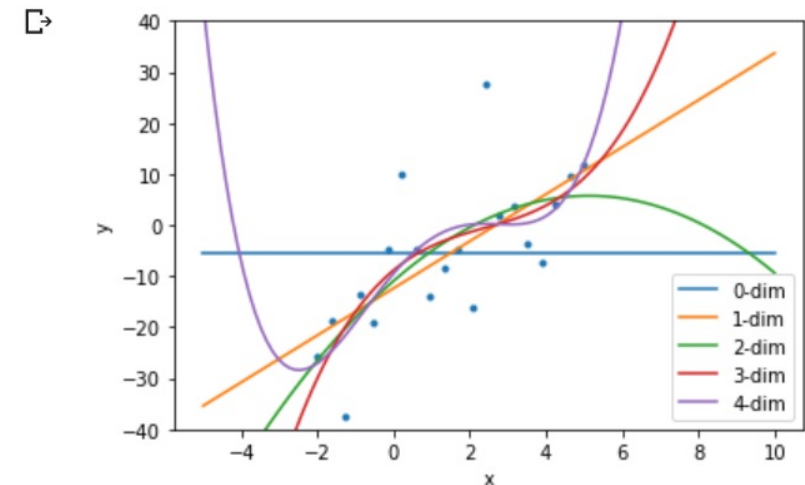
<https://drive.google.com/file/d/1iNXocslOxHgzMQvkPy1-YBZymrXUOKVJ/view?usp=sharing>

ダウンロードして各自のPCの  
jupyter notebookで実行してもよい  
(ただしnumpy,matplotlibのインストールが必要)

```
[ ] plt.scatter(x2, y2_noise, marker='.')  
plt.legend()  
plt.show()
```



```
▶ pred = polynomial_fit(x2, y2_noise, maxdim=5, xlim=[-5, 10], ylim
```



# 線形当てはめの推定パラメータ間の共分散

- $y=A+Bx$ の当てはめ
- $\sigma_A^2$ ,  $\sigma_B^2$ は求められる。AとBの誤差の間に関連はあるか？(Aが平均より大きいとBが小さくなる、など)

$$\sigma_A^2 = \frac{\sum x^2}{\Delta} \sigma_y^2 \qquad \sigma_B^2 = \frac{N}{\Delta} \sigma_y^2$$

$$\sigma_{AB} = ?$$

# AとBの共分散の導出

- A,Bともに正規方程式の解
- $y_i$ にのみ計測誤差があり、 $x_i$ には誤差がない(独立変数だから)
- $y_i$ の計測誤差どうしには相関がない

→ 共分散  $\sigma_{y_i y_j} = E[\delta y_i \delta y_j] = 0$

$$A = \frac{\sum x_i^2 \sum y_i - \sum x_i \sum x_i y_i}{\Delta}, \quad B = \frac{N \sum x_i y_i - \sum x_i \sum y_i}{\Delta}$$

$$\Delta = N \sum x_i^2 - \left( \sum x_i \right)^2 = N \sum (x_i - \bar{x})^2$$

$$\sigma_{AB} = E[\delta A \delta B] = E \left[ \left\{ \sum_i \left( \frac{\partial A}{\partial y_i} \right) \delta y_i \right\} \left\{ \sum_j \left( \frac{\partial B}{\partial y_j} \right) \delta y_j \right\} \right]$$

# AとBの共分散の導出

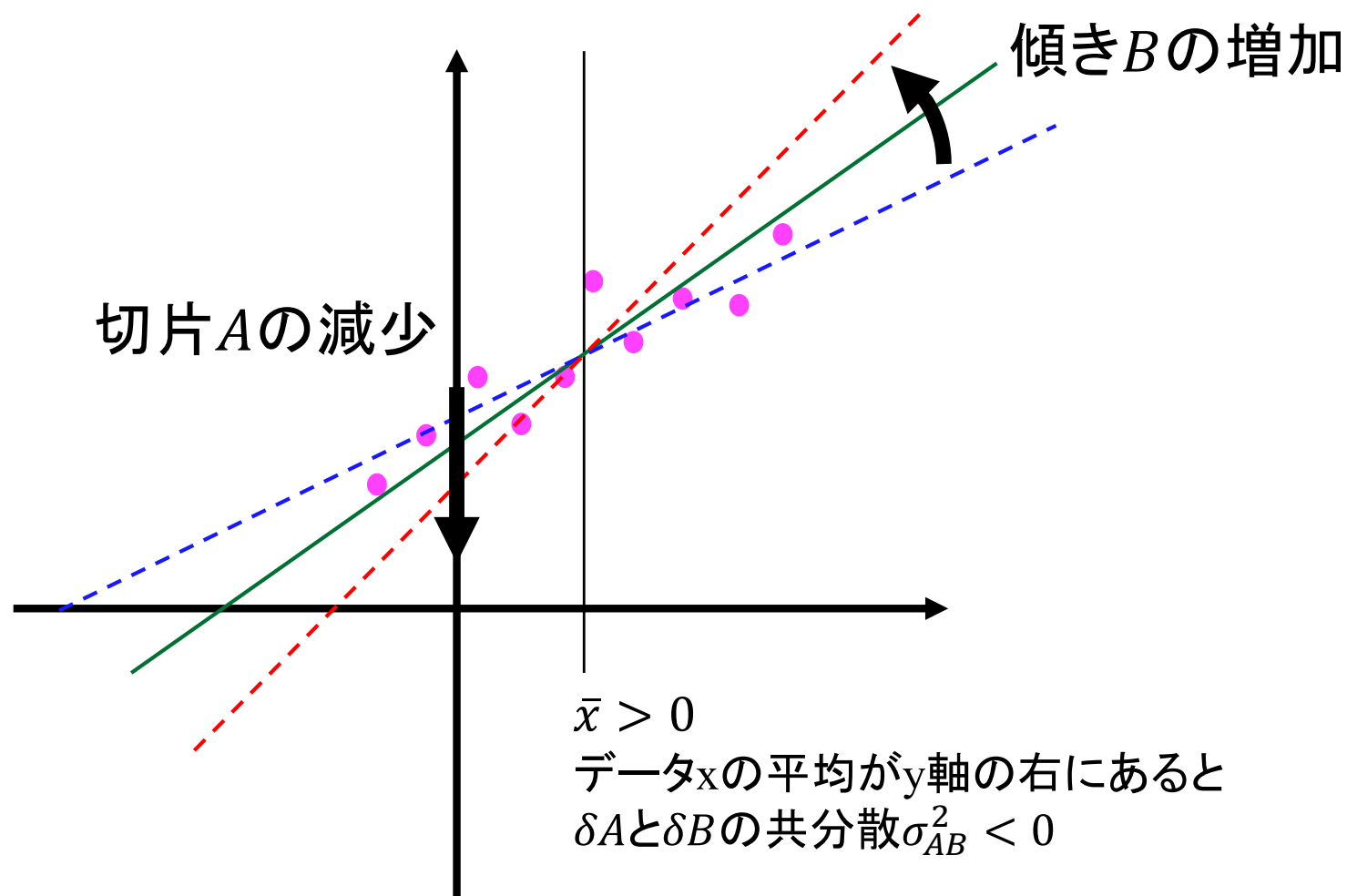
- ガリガリ計算する！
- 途中、 $E[\delta y_i \delta y_j]$ が出てきたら0、 $E[\delta y_i^2]$ が出てきたら $\sigma_y^2$ （計測1回あたりの誤差分散（不偏分散！））で置き換える。

- 結論！ 
$$\sigma_{AB} = -\frac{\sum x}{\Delta} \sigma_y^2$$
 xの平均の符号と逆の相関を持つ

この問題の場合は、 $\sum x = 0$ だったので、 $\sigma_{AB} = 0 !!$



なぜ  $\sigma_{AB}^2$  が  $\sum x (= N\bar{x})$  と逆符号なのか



なぜ $\sigma_{AB}^2$ が $\sum x (= N\bar{x})$ と逆符号なのか

